

**東畑精一** **経済学者、農政学者。農業経済学の体系化に努め、<敗戦>後の農政を主導した。**

とうはたせいいち

Bushidou・1899 = 三重県一志郡豊地村大字井之上で、地主東畑吉之助の長男に生まれる。

**日露戦争終**・1905 = 6歳 :

**アヲチ** 創刊・1908 = 9歳 :

**明治天皇没**・1912 = 13歳 :

三重一中、  
第八高等学校を経て、

**ロシア革命**・1917 = 18歳 :

**バチカン条約**・1919 = 20歳 : **東京大学農学部第二部(駒場)に入学、農業経済学を専攻。**

**原敬首相暗殺** 1921 = 22歳 :

**水平社結成**・1922 = 23歳 : **卒論「リカード派土地社会主義」を提出して、卒業。**

**関東大震災**・1923 = 24歳 : 東大農学部助手、

**護憲三派圧勝** 1924 = 25歳 : 三重県多額納税者の妹と結婚。大学院を経て、**東大農学部助教授となる。**

**治安維持法**・1925 = 26歳 : 長女が誕生。

**円本時代始**・1926 = **27歳** : **アメリカのウィスコンシン大学に留学、ヒバード、コンモンズに師事。**

**金融恐慌**・1927 = 28歳 : **アメリカ農務省、ノース=ウェスタン大学を経て、**

**共産党事件**・1928 = 29歳 : **帰国したが、再び文部省留学生としてドイツに留学、主としてボン大学でシュムペーターに師事、先に留学していた中山伊知郎と親交をむすぶ。帰国して東京大学に戻り、農政学・経済学第二講座を担当。**

**海軍軍縮条約** 1930 = 31歳 :

**満州事変**・1931 = 32歳 : 次女が誕生。

**五一五事件**・1932 = 33歳 : 那須皓との共著で「協同組合と農業問題」を刊行、

**国際連盟脱退** 1933 = 34歳 : 長男が誕生。**教授に就任。農業経済学を専攻、その体系化に努める。**

**芥川直木賞始** 1935 = **36歳** : 大川一司との共著で「朝鮮米穀経済論」を刊行。

**二二六事件**・1936 = 37歳 : 蛸山らと**昭和研究会**に参画、**常任委員として、主に農業問題を担当。主著「日本農業の展開過程」**刊行し、

**日中戦争始**・1937 = 38歳 : 中山伊知郎との共訳で、シュンペーター「**経済発展の理論**」を刊行。**農学博士号。**

**健保+総動員** 1938 = 39歳 : 「**農村問題の諸相**」刊行。

**第二次大戦始** 1939 = 40歳 : 矢内原忠雄が筆禍事件により辞職を余儀なくされた東大経済学部植民政策講座が、さらに「平賀肅学」を受け、その始末のため兼任教授となり、敗戦まで続ける。翌年にかけて中央物価委員会委員。

**大政翼賛会**・1940 = 41歳 : 「**米**」を刊行。物価対策審議会幹事・価格中央形成委員会委員。

**日米開戦**・1941 = 42歳 : 「**日本農業の課題**」刊行。以降、法学部でも農業政策を講じる。

..... 1942 = 43歳 : フィリピン**の軍政監部顧問を務める村田省蔵**から、蛸山や木川博らとともに**比島調査委員会に任命され、**

**創価学会検挙** 1943 = 44歳 : 三女が誕生。**訪比して、占領地軍政のための社会調査を行い、その成果を「比島調査報告」にまとめる。**

**年金+総武装** 1944 = **45歳** :

**敗戦**・..... 1945 = 46歳 : **<敗戦>後の食糧不足・農村の混乱に直面し、**

**新憲法公布** 1946 = 47歳 : **吉田茂の第一次吉田内閣への農林大臣入閣の懇請に応ぜず、代りに和田博雄を農相に推し、みずからは農林省に農業総合研究所を創設し、初代所長に就任。戦後復興に向けての農業政策をリードする。**

**新憲法施行**・1947 = 48歳 : 「**一農政学徒の記録**」「**農地をめぐる地主と農民**」刊行、

**三大事件**・1949 = 50歳 : **米価審議会会長。**

**朝鮮戦争始**・1950 = 51歳 : 中山伊知郎との共訳で、シュンペーター「**経済学史**」刊行、

**独立回復**・1951 = 52歳 : 翌年にかけて、**中山伊知郎との共訳で、シュンペーター「資本主義・社会主義・民主主義」**刊行。

**TV放送始**・1953 = **54歳** : フィリピン賠償全権団員となる。

**自衛隊発足** 1954 = 55歳 : シュンペーター「**経済分析の歴史**」を翻訳刊行。

**55年体制始**・1955 = 56歳 : 訳書に「**経済分析の歴史**」(シュムペーター著)がある。

**国連加盟**・1956 = 57歳 : **農業総合研究所所長を退任し、農林水産技術会議会長、**

**なべ底不況** 1957 = 58歳 : **経済審議会委員・国民生活審議会会長。**

**イカサマ**・1958 = 59歳 : **岸信介内閣の移動大使に任命され、エジプト・エチオピア・インドを歴訪して、新興諸国へ関心を強め、**

**美智子妃**・1959 = 60歳 : **東京大学を定年退官すると、第一生命都市開発研究所農村計画担当顧問。農業基本問題調査会会長を引き受けるかたわら、アジア経済研究所を創設して初代所長に就任。現地活動に重点を置くアジア経済研究所独特の調査スタイルをつくって行く。**

**安保闘争**・..... 1960 = 61歳 :

**タイタイ病始** 1961 = 62歳 : **農政審議会会長となり、農業基本法制定に参画するなど、戦後農政に一定の影響力をもち、**

**全国総合計画** 1962 = **63歳** :

**東京リ光**・1964 = 65歳 : 岩波新書「**日本資本主義の形成者**」刊行。**日本学士院会員(第一部)、**

**大学紛争始**・1965 = 66歳 : **税制調査会長などを務めて、政策立案に多大の貢献をした。**

**美濃部都知事** 1967 = 67歳 : **アジア経済研究所所長を退任し、**

**霞ヶ関ビル**・1968 = 69歳 : **\*会長。"農業の近代化に対する顕著なる貢献"で、フィリピンのマグサイサイ賞を受賞。**

**全共闘**・1969 = 70歳 : **農政審議会会長を退任、**

**ドミノ**・..... 1971 = **72歳** :

**日中国交回復** 1972 = 73歳 : **アジア経済研究所会長を退任し、顧問**

**石油ショック** 1973 = 74歳 :

**角栄金脈辞任** 1974 = 75歳 : **\*税制調査会会長も退任。**

**革新大敗北**・1979 = 80歳 : **日本経済新聞社(私の履歴書)シリーズで、自伝を執筆し、**

**貿易摩擦問題** 1980 = **81歳** : **文化勲章を受章して、**

**テイニラント** 1983 = 84歳 : **没した。**